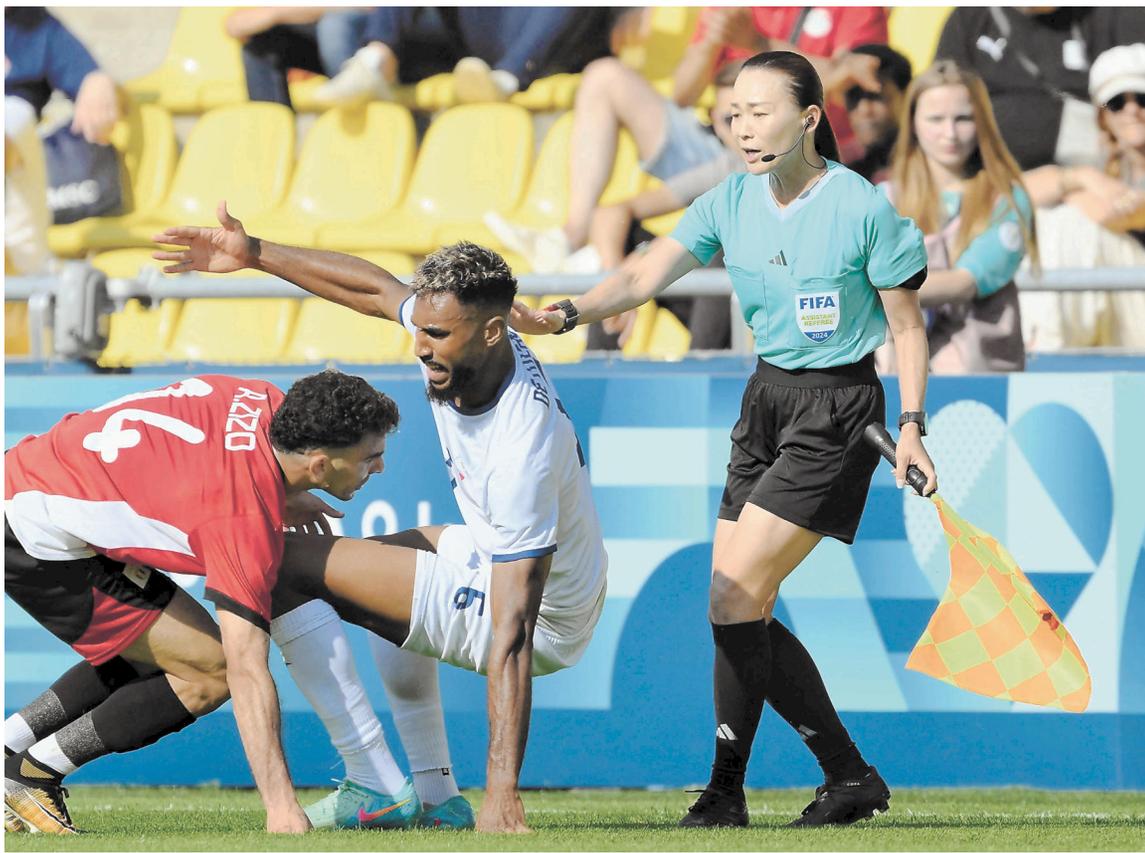


多くの国際試合ジャッジ 元サッカー副審・手代木直美さん



パリ五輪サッカー男子1次リーグのエジプト対ドミニカ共和国戦で副審を務めた手代木さん(右)=2024年7月24日

いいプレーを一番近くで

サッカー元国際審判員の手代木直美さん(仙台市太白区)は、女子ワールドカップやオリンピックなどの国際試合で副審を務めました。どんな仕事なのか、聞きました。

(1面に関連記事)

副審はボールの動きに合わせる

◇
副審はボールの動きに合わせてライン沿いを走りながら目を光らせ、ボールがラインの外に出たときや、オフサイドルールに違反があったときなどに、フラッグで主審に知らせます。男女の試合に関係なく審判を務め、1試合の移動距離は6〜8キロにもなります。

「主審サポート、性分に合う」

30歳を4・7秒以下で走るなどの厳しい体力テストをクリアし、手代木さんは2013年に国際サッカー連盟の副審に登録されました。「きちょうめんで物事をはつきりと決着させたい性分。主審をサポートする方が向いている」と、副審を選びました。
五輪は16年のリオデジャネイロから3大会連続で審判を務めました。初選出の連絡が来たとき、うれしくて興奮した手代木さん。21年の東京は「ほっと」とし、昨年夏のパリのときは「これで引退できる」と思ったそうです。
審判の魅力は「一番近くでいいプレーが見られること。選手が互いにたたえ合う言葉は、そこでしか聞けない」と語ります。最高の褒め言葉は、負けた選手からの「ナイス、ジャッジ」だそう。
手代木さんは昨年末に一線から退き、現在日本サッカー協会の審判マネジャーとして、後輩を育てています。「審判になって良かった。充実した審判生活を送れて幸せでした」。晴れやかな笑顔で振り返りました。

QuizKnock と巡る

江戸東京博物館展

EDO-TOKYO MUSEUM

東北が江戸になる!

伊沢拓司 山本祥彰 龍崎修助

知れば知るほど「江戸」はもっと面白くなる。

徳川幕府の政治拠点として栄えた「江戸」。町がどのように造られたのか。歴史資料や体験模型で紹介しています。浮世絵など多彩な絵画や生活の道具などの他、「武家諸法度」「ペリー横浜来航の図」といった、教科書にも出てくる資料も注目です。「大名駕籠」や「棒手振り」などの体験模型は乗ったり、担いだりすることもできます。さらに、知的エンタメ集団QuizKnockが、彼らならではの視点で江戸の歴史を紐解き、入場者の見学をナビゲートします。時代劇や小説、教科書でおなじみの「江戸」ですが、本展を見学すればもっと面白くなること間違いありません。

会期

2025 4/19(土) - 6/22(日)

■開館時間 午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)
■休館日 毎週月曜日、5月7日(水)*ただし、4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館
■入場料

一般	1,300円
(当日券)	1,500円
小・中・高生	500円
(当日券)	600円

お得な前売券 好評販売中!

■チケット取り扱い *は、前売券のみ販売
東北歴史博物館、*藤崎、*ニッセンレン・テラス セルバ店、*河北新報販売店、アソビユー!、ローソンチケット(Lコード:22866)、セブンチケット(セブンコード:108-704)、ファミリーマート(Funity)
(注)前売券の販売は4月18日まで。以降は、当日券料金での販売となります。

■主催:東北歴史博物館 河北新報社 仙台放送
■監修:東京都江戸東京博物館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

左記写真(右から時計回りに)①橋本貞秀/画「浅草金亀山境内において大人形ぜんまい仕掛の図」
②歌川広重/画「東都名所 高輪二十六夜待遊興之図」パナー展示 ③歌川国郷/画「東都名所 両国夕涼の図」 ④勝川春英/画「市川団十郎の暫」 ⑤歌川貞秀/画「潮干狩図」
*資料・模型はすべて東京都江戸東京博物館所蔵

東北歴史博物館
TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL:022-368-0106 FAX:022-368-0103
E-mail:thm-service@pref.miyagi.lg.jp
https://www.thm.pref.miyagi.jp/

カーナビ検索は 022-368-0101